

業 務 仕 様 書

秋 田 県
北 秋 田 市

事業仕様書

業務の実施にあたっては、本仕様書によるほか、秋田県が制定している「豊かな里山林整備事業実施要領」及び豊かな里山林整備事業のうち、「緩衝帯等整備事業実施基準」、「緩衝帯等整備事業検査基準」を熟読のうえ業務を適正に執行すること。

総括的事項

1. この仕様書は北秋田市造林事業に関する一般的仕様を示すもので、特別の指示がない場合はこの仕様により事業を実施するものとする。
2. この仕様書及び設計図書に明示していない事項又は疑義を生じた事項は担当職員（以下 監督職員）と協議のうえ決定するものとする。
3. 受託者はあらかじめ監督職員の指示を受け、作業実施の具体的方法を熟知のうえ労務管理、林地の保全、火災その他の事故防止に万全の措置を講ずるものとする。
4. 受託者は本事業計画地の整備区域外周をポケットコンパス等により測量する。縮尺は1ha未満を1/1,000とし実測図面を作成するものとする。面積の計測はプランメーター等を用いて算出する。面積数値は少数点第2位まで、単位はヘクタールにて算出するものとする。以上のことを実施のうえ測量野帳及び施業図を作成し監督職員に提出することとする。

提出書類

1. 受託者は契約事項に基づいて、契約担当者又は監督職員に関係書類を提出するものとする。
 - ①業務着手日までに提出する書類 ⇒ 業務着手届、業務工程表、業務管理責任者選任届及び添付書類
 - ②業務完成後直ちに提出する書類 ⇒ 業務完成届、以下の書類
2. 受託者は事業の実施状況を確認できるよう事業の実施区域について、別表のとおり写真を撮影し、下記の事項に基づき、事業の完成時に監督職員に提出するものとする。
 - ①事業の着手前、②事業の実施中、③事業の完成後、④その他事業の実施状況が確認できる写真

森林整備

1 下刈り

下刈りの実施にあたっては、秋田県造林施業等実施基準 11 下刈りの 4 実施方法に定める方法により実施しなければならない。

2 枝打ち

枝打ちの実施にあたっては、秋田県造林施業等実施基準 14 枝打ちの 5 実施方法に定めるもののほか、次により実施しなければならない。

- (1) 植栽木の林齢は問わない。
- (2) 目線を遮る枝等を除去する必要があるため、枝下高 1m 以上となるように実施する。
- (3) 見通しを良くするため、林縁部での枝打ちも実施する。
- (4) 植栽木以外の雑木等も同様に実施する。

3 出来形管理(枝打ち)

- (1) 10m×10m の標準地を設定し、実施本数を管理する。標準地の位置を記載した施業図及び森林計画図、さらに標準地内の実施木を記載した見取り図を作成し出来形管理表(様式第6号)に添付し保管するものとする。
標準地の設置個所は1箇所以上(1ha 未満)とし、管理規格値は枝打ち本数、枝打ち高規格とも設計数値以上とする。

4 写真管理

受託者は、事業実施状況写真を緩衝帯等整備事業実施基準の定めに基づき撮影し、その撮影記録を管理するものとする。

その他

- (1) 整備後のツルや灌木等の処分については現場内処理を基本とする。
- (2) 自然環境に最大限配慮するため、チェーンソー等に使用する潤滑油はエコマーク認定の生分解性オイルを使用するものとする。